



JISSEN



学校法人 実践女子学園

Jissen Women's Educational Institute Profile

Jissen
for a Changing World

2025



理事長
メッセージ
MESSAGE

学園のさらなる発展に向けて

実践女子学園は、近代女子教育の先駆者である下田歌子の「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神のもと、1899（明治32）年に創立されました。中学から大学院までの一貫した教育組織を持つ女子教育機関として発展し、これまでに17万人の卒業生を送り出してきました。

近年、社会環境は目まぐるしく変化しています。創立者の志を受け継ぐとともに、環境変化に即した教育を時代に先駆けて創造していくことが重要だと考えます。現在、学園では、「社会連携」や「グローバル」を意識した新しい教育プログラムに力を注いでおり、今後、さらなる充実を図ってまいります。

これからも多くの学生・生徒が学び、そして社会に貢献できる人材を輩出する魅力的な学園であり続けるために、学園の発展に力を尽くしてまいります。



学校法人 実践女子学園 理事長 木島 葉子

建学の精神

「女性が社会を変える、世界を変える」

創立者 下田 歌子

Profile 幼いときから和歌や俳句、漢詩、日本画に秀で16歳で上京。華族女学校の教授、学監や内親王の教育係を歴任する。1898（明治31）年には帝国婦人協会を設立し、上流婦人に偏っていた教育を広く一般女子に開放。近代女子教育の礎を築いた。



実践女子学園の創立者である下田歌子は、宮中奉仕、華族女学校の教授兼学監へ就任した後、39歳で女子教育視察のために2年間にわたって欧州諸国とアメリカを巡りました。イギリスでは、王女も一般市民と同じパブリックスクール（私学）で教育を受けていることに感銘を受け、国力の礎は一般女子の教育にかかっているという結論に達します。実践女学校は、歌子の教育にかける信念を校名に冠して1899（明治32）年に創設されました。深い日本の教養に先進的な思想を身につけ、女子教育に情熱を傾けた歌子は、今の実践生のお手本ともいえる存在です。

役員

理事長	木島 葉子	
副理事長	難波 雅紀	大学・短期大学部 学長
常務理事	広井 多鶴子	大学・短期大学部 副学長
	真島 和已	
理事	湯浅 茂雄	中学校高等学校 校長
	橘 弘志	大学・短期大学部 副学長
	稲垣 伸一	
	上原 信幸	
	周東 正紀	
	富来 清貴	株式会社Surpass 代表取締役社長
	石原 亮子	北陸電力株式会社 社外取締役
	宇野 晶子	サイボウズ株式会社 執行役員 経営支援本部長
	林 忠正	第一芙蓉法律事務所 弁護士
	平越 格	一般社団法人教育文化振興実践協会 理事長
	大和 恵子	

常勤監事 森 洋治
監事 馬場 俊和

学園組織図

- ・学校法人 実践女子学園
- ・実践女子大学
- ・実践女子大学短期大学部
- ・実践女子学園中学校高等学校

教職員数

大学教員	145 名	中学校高等学校教諭	75 名
短期大学部教員	1 名	専任職員	85 名
大学・短大助手	49 名	契約職員	48 名
		教職員合計	403 名



DATA

●学園卒業生数

178,021 名

●学生・生徒数（2025年5月1日現在）

大学 短期大学部	4,567 名
大学 大学院	26 名
高等学校	674 名
中学校	763 名
合計	6,030 名

●2024年度（2025年3月）就職状況

大学	98.4 %
短期大学部	91.4 %



実践女子学園の沿革



実践女子の誕生

— 1899年～1934年 —

▶1899(明治32)年

下田歌子が帝国婦人協会私立実践女学校及び女子工芸学校を創立、千代田区麹町に開校



▶1903(明治36)年

実践女学校・女子工芸学校を渋谷常盤松新校舎に移転



▶1908(明治41)年

女子工芸学校を廃止して実践女学校に工芸部を置く。さらに実践女学校中等学部と改称。高等専門学部を開設し、文学部、家政科及び技芸科を設置

▶1909(明治42)年

実践女学校付属幼稚園を設置認可

▶1932(昭和7)年

実践女学校各部の名称を実践女子専門学校、実践高等女学校、実践実科高等女学校と改称

▶1934(昭和9)年

実践実科高等女学校の組織を改め実践第二高等女学校と改称

学園の変遷と復興

— 1947年～1985年 —

▶1947(昭和22)年

実践女子学園中学部及び第二中学校を新設。同年12月に実践女子学園中学校第二中学校と改称

▶1948(昭和23)年

中学校、第二中学校を合併して実践女子学園中学校とする。実践女子学園高等学校を新設

▶1949(昭和24)年

実践女子大学文政学部設置。国文・英文・家政の三学科を置く



▶1950(昭和25)年

実践女子学園短期大学家政科を設置



▶1952(昭和27)年

短期大学に国文科、英文科を増設

▶1965(昭和40)年

大学文政学部を廃止し、文学部、家政学部を設置。東京都日野市に大学一般教養課程を移転

▶1966(昭和41)年

大学大学院(修士課程)文学研究科国文学専攻、英文学専攻、家政学研究科食物・栄養学専攻を設置



▶1968(昭和43)年

実践女子学園短期大学を実践女子短期大学に名称変更



▶1969(昭和44)年

大学大学院(博士課程)文学研究科国文学専攻を設置

▶1976(昭和51)年

短期大学を東京都日野市に移転



▶1979(昭和54)年

学園創立80周年を記念して、文学部に文芸資料研究所を設置

▶1985(昭和60)年

大学文学部に美学美術史学科を設置

着実な発展

— 1986年～2012年 —

▶1986(昭和61)年

大学・大学院、法人本部を東京都日野市に全面移転

▶1988(昭和63)年

短期大学の国文科、英文科及び家政科を国文学科、英文学科、生活文化学科に名称変更

▶1989(平成元)年

大学大学院(修士課程)家政学研究科に被服学専攻を設置

▶1992(平成4)年

大学大学院(修士課程)文学研究科に美術史学専攻を設置

▶1995(平成7)年

大学の家政学部を生活科学部に、食物学科、被服学科をそれぞれ食生活科学学科、生活環境学科に名称変更。新たに生活文化学科を増設

▶1999(平成11)年

学園創立100周年。大学大学院家政学研究科を生活科学研究科に、被服学専攻を生活環境学専攻に名称変更。香雪記念資料館設置



▶2000(平成12)年

短期大学国文学科、英文学科を日本語コミュニケーション学科、英語コ

ミュニケーション学科に名称変更。併せて、生活文化学科を生活福祉学科及び食物栄養学科に改組。香雪記念館設置

▶2004(平成16)年

大学に人間社会学部人間社会学科を設置



▶2005(平成17)年

大学大学院生活科学研究科食物栄養学専攻(博士後期課程)を設置

▶2007(平成19)年

大学生生活科学部生活文化学科を生活文化専攻と幼児保育専攻に専攻分離

▶2008(平成20)年

中学校にグローバルスタディーズクラス(GSC)を開校

▶2009(平成21)年

学園創立110周年

▶2010(平成22)年

大学大学院(修士課程)人間社会研究科人間社会専攻を設置

▶2011(平成23)年

大学人間社会学部に現代社会学科を設置。大学大学院(博士後期課程)文学研究科美術史学専攻を設置。高等学校にグローバルスタディーズクラス(GSC)を開校

▶2012(平成24)年

短期大学生生活福祉学科を廃止

飛躍に向けて

— 2013年～2024年 —

▶2013(平成25)年

大学食生活科学部に健康栄養専攻を設置。大学が財団法人大学基準協会の相互評価により適合認定。短期大学が財団法人短期大学基準協会の第三者評価により適格認定

▶2014(平成26)年

実践女子短期大学を実践女子大学短期大学部に名称変更。東京都渋谷区に校舎を新築。大学の文学部、人間社会学部、短期大学部を移転。生活科学部に現代生活学科を設置。生活文化学科の生活文化専攻を生活心理専攻に名称変更。下田歌子研究所設置

▶2016(平成28)年

文芸資料研究所、香雪記念資料館及び下田歌子研究所を大学附置の研究機関とする。短期大学食物栄養学科を廃止

▶2018(平成30)年

下田歌子研究所を下田歌子記念女性総合研究所に名称変更

▶2019(令和元)年

学園創立120周年。大学・短期大学部で学生総合支援制度[J-TAS](Jissen Total Advanced Support)を開始

▶2024(令和6)年

学園創立125周年。大学に国際学部国際学科を設置。人間社会学部現代社会学科をビジネス社会学科に名称変更。人間社会学部に社会デザイン学科を設置

▶2025(令和7)年

大学に環境デザイン学部環境デザイン学科を設置

歴代理事長

- 初代 下田 歌子 1899. 4.18 就任
- 第2代 平尾 壽子 1936.11. 2 就任
- 第3代 竹内 貞三 1941.11. 7 就任
- 第4代 平尾 壽子 1943. 2. 6 就任
- 第5代 竹内 貞三 1946. 6.24 就任
- 第6代 小畑 惟清 1950. 1.14 就任
- 第7代 夢沼 繁枝 1952. 6.18 就任
- 第8代 多田 基 1974. 1.21 就任

- 第9代 吉川 正己 1992. 4.10 就任
- 第10代 澤井 勇 1998. 4. 1 就任
- 第11代 高橋 芳樹 2006. 4. 1 就任
- 第12代 井原 徹 2009. 4. 1 就任
- 第13代 山本 章正 2019. 4. 1 就任
- 第14代 木島 葉子 2024. 4. 1 就任

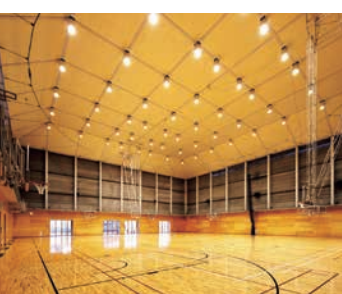
歴代大学・短期大学 学長

- 初代 宇野 哲人 1949. 4. 1 就任
- 第2代 山岸 徳平 1958.10. 1 就任
- 第3代 守随 憲治 1961. 4. 1 就任
- 第4代 山岸 徳平 1966. 4. 1 就任
- 第5代 守随 憲治 1971. 4. 1 就任
- 第6代 桂田 利吉 1974. 4. 1 就任
- 第7代 多田 基 1978. 4. 1 就任
- 第8代 井本 農一 1984. 4. 1 就任

- 第9代 吉川 正己 1988. 4. 1 就任
- 第10代 分銅 惲作 1993. 4. 1 就任
- 第11代 飯島 俊郎 1997. 4. 1 就任
- 第12代 飯塚 幸子 2001. 4. 1 就任
- 第13代 湯浅 茂雄 2007. 4. 1 就任
- 第14代 田島 眞 2013. 4. 1 就任
- 第15代 城島 栄一郎 2017. 4. 1 就任
- 第16代 難波 雅紀 2021. 4. 1 就任

歴代中学校高等学校 校長

- 初代 吉田 政一 1947. 4. 1 就任
- 第2代 池本 義夫 1971. 4. 1 就任
- 第3代 船崎 和夫 1981.10. 1 就任
- 第4代 阿原 八郎 1992. 4. 1 就任
- 第5代 伊藤 允久 1998. 4. 1 就任
- 第6代 松田 由紀子 2004. 4. 1 就任
- 第7代 嶋野 恵子 2010. 4. 1 就任
- 第8代 高橋 基之 2017. 4. 1 就任
- 第9代 石野 郁也 2019. 4. 1 就任
- 第10代 湯浅 茂雄 2021. 4. 1 就任



渋谷キャンパス

日本の文化・情報の発信地で
より良い社会に貢献できる力を育む

DATA

- 実践女子大学・大学院
- 実践女子大学短期大学部
- 実践女子学園中学校高等学校

渋谷校地 土地 25,447 m² / 建物 53,012 m²

学部・学科・専攻

文学部	国文学科	古代の文学から漫画・アニメまで、多様なことば・文学・文化現象を探究し、論理的思考力、自分の考えを他者に伝える表現力を養います。国文学研究を通じて、現代社会の多様な課題を解決し、「今」に生きるための力を身につけます。
	英文学科	実践的な英語の力を培い、グローバルな英語圏文化・社会、言語、ジェンダーに関する知識を身につけ、国際社会に貢献できる力を養います。
	美学美術史学科	世界のさまざまな芸術や美術作品を知ることを通じ、文化や歴史の多様性を尊重し、社会に貢献する力を身につけます。また美術や文化についての確かな言葉によってその魅力を伝える力を養います。
人間社会学部	人間社会学科	人々や社会が直面している問題に向きあい、心理や行動、その背景にある地域や文化など幅広い視点から考察。人と人との関わりを軸に確かな社会力を養います。
	ビジネス社会学科	渋谷から世界へ、心が動く、その時、ビジネスは生まれる。社会や企業について多角的に考察し、そこに潜在する課題を発見し、解決するリーダーシップとコミュニケーション能力を身につけます。
	社会デザイン学科	この先の社会を、もっと素敵に。デザイン思考で社会問題に取り組む。多様化、複雑化する時代だからこそ、多彩な未来へと続く学びの可能性を追究。課題解決型授業（PBL）で社会の本質を読み解きます。
国際学部	国際学科	世界を見つめる。世界へ飛び出す。活躍の舞台はボーダレス。世界を広く、日本を深く学ぶ。英語によるディベート能力と豊かな日本語能力を養い、国際力と越境力を備えたグローバル人材を育てます。
短期大学部	日本語コミュニケーション学科	美しい日本語の使い方を学ぶことで、ビジネスの現場で役立つ実践的なコミュニケーションスキルを習得し、文学や文化の学習を通して人間や社会に対する理解を深めます。
	英語コミュニケーション学科	世界や日本のさまざまな業界で英語を使って活躍する力を伸ばします。実践的な英語力はもちろん、グローバルな視野を身につけます。
大学院	文学研究科	日本、東洋、西洋各地域の文学、言語、美術の各分野における精深な学識を授け、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の能力を養成することを目的として、国文学専攻、英文学専攻、美術史学専攻の3専攻を設置しています。
	人間社会研究科	人間社会の分野における精深な学識を授け、より高度な専門的知識・技能と能力を養成することを目的とし、人間社会専攻を設置しています。

「実践力で未来をつくる」

創立の理念に基づき、本校教育の3つの柱である「グローバル教育」「探究教育」「感性表現教育」を通して、中高6年間で、グローバル時代の複雑で予測困難な世界を理解し、平和で平等、持続可能な世界の実現に貢献する実践力と感性を養います。

日野キャンパス

自然あふれる落ち着いた環境で
人と地域を支える力を育む

DATA

- 実践女子学園（法人本部）
- 実践女子大学・大学院

日野校地（大坂上） 土地 43,035 m² / 建物 36,970 m²
日野校地（神明） 土地 25,959 m² / 建物 164 m²

学部・学科・専攻

環境デザイン学部	環境デザイン学科	建築・住環境、プロダクト・インテリア、アパレル・ファッション、総合デザイン。学びのすべては、愉しく、快適な未来のために。生活環境を多角的にとらえデザインする力を養うカリキュラムを通じて、暮らしを豊かにする実践力を身につけます。仲間たちとチームを組んで総合的な解決力を発揮しよう。
	食生活科学科 管理栄養士専攻	人の命を支えることができる栄養管理のエキスパートになる。豊富な実習と実験で国家資格取得を目指します。知識と技能とマネジメント能力を備えた、適切な食習慣や食行動を支援できる人材を育みます。
生活科学部	食生活科学科 食物科学専攻	食の世界を広く深く。未来を担う食の専門家を目指す。豊かで健康的な食生活を支える3つのコースからなる専攻です。食を科学の視点でとらえ、調理からフードビジネスまで幅広く学べます。
	食生活科学科 健康栄養専攻	食の形は多種多様。個々にフィットする理想の食事を求めて。食を学ぶことは、人間を知ること。食品や栄養、健康づくりや疾病、食育などの幅広い知識を備えたプロフェッショナル人材を輩出します。
	生活文化学科 生活心理専攻	家庭・社会・人間の生活を心理学から科学する。生活と社会。家族と社会。心身の健康。日常生活の中に潜むさまざまな問題を心理学の視点で考え、課題解決力を備えた人材を育みます。
	生活文化学科 幼児保育専攻	保育や教育はもちろん、心理や福祉、健康などの領域も幅広く学び、多様な現場で子ども主体の保育・教育を実現できる柔軟な思考と応用力を養います。
大学院	現代生活学科	時代の本質を読み解く、私になる。世界が抱える複雑に絡みあった問題を「環境」「メディア」「自立」の3つの領域から横断的に学ぶことで、課題解決能力を身につけます。
	生活科学研究科	食物栄養学または生活環境学分野における精深な学識を授け、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の能力を養成することを目的として、食物栄養学専攻ならびに生活環境専攻の2専攻を設置しています。

食科学部 食科学科「食デザイン専攻・健康栄養専攻」 管理栄養学科

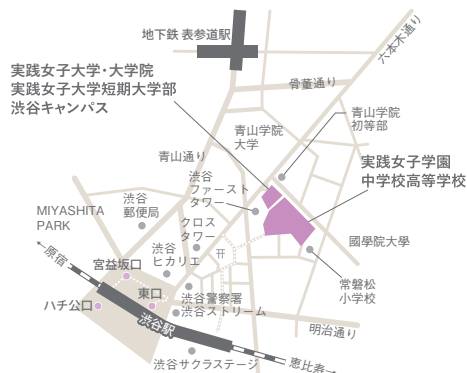
2026年
4月設置

「食」は命を支えている。「食」で流行やビジネスを生み出すことも、世界とつながることもできる。知識や技術だけでなく、地域や企業との実践的な学びがあなたの未来を広げてくれる。



- 関連施設
1. 国際交流会館
 2. 大学・短期大学部グラウンド(神明)

渋谷キャンパスACCESS



- JR 有 渋谷駅下車 徒歩約 10 分
- 地下鉄表参道駅下車 徒歩約 12 分

実践女子大学・大学院

<https://www.jissen.ac.jp/>

渋谷キャンパス

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49 03-6450-6817

実践女子大学短期大学部

<https://www.jissen.ac.jp/>

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49 03-6450-6817

実践女子学園中学校高等学校

<https://hs.jissen.ac.jp/>

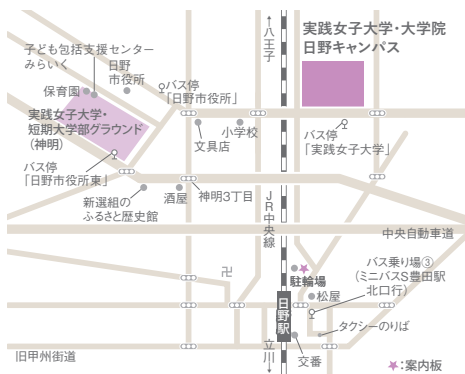
〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-11 03-3409-1771

新しい学園シンボルロゴは、二つの目的をもって創りました。一つ目は、本学園の建学の精神や教育理念、現在と未来の目指す姿を、より広く、わかりやすく学内外に発信すること、二つ目は、学園ステークホルダー（学生・生徒、教職員、卒業生、その他学園に関わる人々）の一体感の醸成です。

デザインは、本学文学部美学美術史学科の学生 5 名が共同で行いました。デザインコンセプトは、「繋がり・未来」。花びらは、卒業生を含む「実践生」を表しています。そして、躍動感のあるリボンが、社会との繋がりと未来へ羽ばたく姿を象徴しています。



日野キャンパスACCESS



- JR 中央線日野駅下車 徒歩約 12 分／ミニバス約 4 分（「実践女子大学」下車）

実践女子大学・大学院

<https://www.jissen.ac.jp/>

日野キャンパス

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 042-585-8817

学校法人 実践女子学園

<https://www.jissen.ac.jp/school/>

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 042-585-8800

一般社団法人教育文化振興 実践校会

役員

理事長	大和 恵子	文化部長理事	油井 恵子
総務部常任理事	竹内 節子	広報部常任理事	高橋 泰子
事業部常任理事	松田 寿子		
財務部常任理事	山中 託子	他理事 9 名	監事 2 名

歴代の理事長

初代	下田 歌子	第10代	金子 京子
第2代	平尾 壽子	第11代	徳嵩 宮子
第3代	藤井 甚太郎	第12代	篠田 俊子
第4代	宇野 哲人	第13代	飯塚 幸子
第5代	田村 糸子	第14代	若松 幸子
第6代	中野 清子	第15代	銀島 康子
第7代	松山 柳	第16代	浦上 淳子
第8代	戸野原 須賀子	第17代	鈴掛 まゆみ
第9代	馬場 八巻	第18代	大和 恵子

科会・科会長一覧

実践ときわ会	休 会	実践国文科会	小林 美菜子
実践被服 生活環境科会	山本 順子	実践英文科会	鈴掛 まゆみ
実践家政科会	伊達 絹代	実践生活文化科会	北村 はるか

支部・支部長一覧

札幌	佐々木 智子	埼玉	金子 京子	静岡	鏡島 眞理子	福岡	川端 眞樹子
函館	宮村 智子	千葉	石井 松子	愛知	神谷 洋子	新潟	藤山 たか子
岩手	休 会	神奈川	守田 由紀子	三重	休 会	佐賀	山脇 美代
宮城県	谷口 あき子	山梨	休 会	関西	武内 美知子	熊本	瀬川 敬代
秋田	境田 幸子	長野	市川 裕子	鳥取	播磨 篤子	大分	藤川 幸子
山形	長谷川 文	新潟	齊藤 清子	島根	大谷 香代子	鹿児島	山口 圭子
福島県	山田 厚子	富山	堀井 光子	岡山	岩藤 充子	沖縄	休 会
茨城	久保田 節子	石川	紙谷 玲子	山口	根ヶ山 祥子	New York	服部 節子
栃木県	池島 敬子	福井	谷 洋子	愛媛	森 ゆかり	英国	ホルト 桂子
群馬	茂木 初枝	岐阜	蒲 敦子	高知	青木 京子		